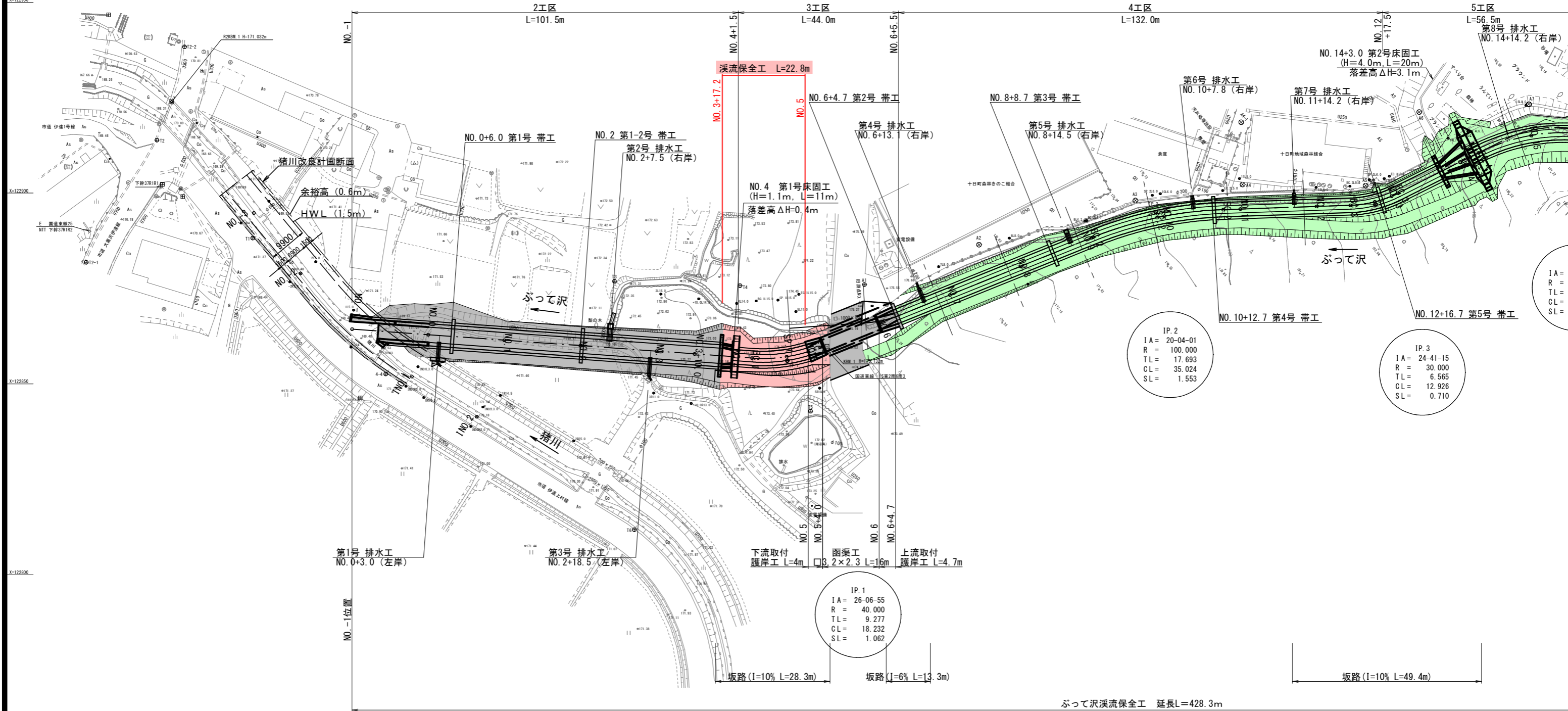


ぶって沢 防災・安全（通常砂防）緊急重点測量業務委託 平面図 S=1

十日町市大黒沢 地内



ぶって沢渓流保全工 延長L=428.3m

- 《置換え基礎の留意事項》
- (※1) 改良範囲は、函渠底部に深く分布する不安定となるシルト質細粒砂層 (Ds) であり、基礎地盤となる砂混じり礫層 (Dg) まで置換えるものとする。
 - (※2) 置換え基礎の材料は、地下水位が高いことから良質土 (砕石: RC-40) とする。
 - (※3) 上記に併せて、置換え基礎の範囲は底版面から30°の分散角を考慮した範囲とする。
- 《その他の留意事項》
- (※1) 斜面掘削施工後には仮設時の法面保護を目的として、斜面上に土木養生シート等を設置する事が望ましい。
 - (※2) 掘削施工の結果、地質分布状況が設計段階での想定と相違している場合には、監督員と協議の上で、地質状況に応じて掘入や構造変更等に関して適宜に見直しに対処する事が望ましい。
 - (※3) 掘削土砂の大半が軟質な砂混じり礫 (Ag)、シルト質細粒砂 (Ds) の土砂であり、埋戻し材として不適当となる場合がある。但し、施工者及び監督員との協議により、掘削土が埋戻し材として適当であると判断され、転用可能な場合にはこの限りではない。
 - (※4) 床固工築造時は、各施設位置で平板載荷試験を行い、基礎地盤の許容支持力を確認した上で施工を行う事。各堰堤の許容支持力は計算結果より安全側の値を考慮して次の通りである。
【第1号床固工60kN/m²、第2号床固工170kN/m²、第3号床固工140kN/m²、第4号床固工180kN/m²】
 - (※5) NO. 0+6.0位置左岸側の排水工については、現場にて対応する事。

床固工 計画諸元

床固工位置	落差高ΔH	施設形状
第1号 床固工 NO. 4位置	0.4m	H=1.1m、L=11.0m
第2号 床固工 NO. 14+3.0位置	3.1m	H=4.0m、L=20.0m
第3号 床固工 NO. 17+10.0位置	2.1m	H=3.0m、L=15.0m
第4号 床固工 NO. 19+10.0位置	3.3m	H=4.2m、L=21.0m

下流区間 (1/125勾配)、帯工位置

帯工位置
第1号 帯工 NO. 0+6.0位置

上流～下流区間 (1/22勾配)、帯工位置

帯工位置
第2号 帯工 NO. 6+4.7位置
第3号 帯工 NO. 8+8.7位置
第4号 帯工 NO. 10+12.7位置
第5号 帯工 NO. 12+16.7位置
第6号 帯工 NO. 15+14.0位置
第7号 帯工 NO. 18+5.85位置

実施設計書